

「三浦綾子文学」リレー講演会（第5回） 報告書

1時間で分かる三浦綾子！

日時:12月12日(木)、16:40から17:50
 会場:メディア視聴覚室(東海大学旭川キャンパス 本館 2F)
 対象:学生,教職員,市民(入場無料)
 主催:旭川ウェルビーイング・コンソーシアム
 共催:三浦綾子記念文学館
 後援:旭川市教育委員会



司会進行 門谷 眞一郎 PR協力 大野 仰一 PC操作・会場設営 千葉 将壽(学生)
 参加者数 40名
 内訳:学生(15名),一般(20名),本学教職員(4名),報道/読売新聞(1名)
 会場担当 東海大学附属図書館旭川図書館(受付:女屋,記録:小川)
 配布資料 プログラム(講師紹介・開催主旨),レジメ(大矢)



会場風景

開催主旨

三浦綾子文学は、「どのように生きていきたいのか」という問いかけがテーマである。旭川で学ぶ学生に、旭川で生まれ育った三浦綾子文学を知ってもらうことにより、学生がさらに、旭川の大地、生命倫理、読書に関心を持つことを目的として、旭川ウェルビーイング・コンソーシアム(旭川医科大学、旭川大学、北海道教育大学旭川校、東海大学旭川キャンパス、旭川工業高等専門学校)は、旭川市教育委員会の後援のもと、三浦綾子記念文学館との共催により開催する。

〔講師・テーマ〕

大矢 二郎 教授(東海大学名誉教授)

テーマ「三浦綾子記念文学館の設計に懸けた思い」 16:45-17:05

大矢 二郎(おおや じろう)

東海大学旭川キャンパス、東海大学名誉教授。専門分野は建築計画・建築デザイン・一級建築士。旭川のまちづくりに数多く参画。

森下 辰衛 氏(三浦綾子記念文学館特別研究員) 17:05-17:50

テーマ 三浦綾子作品『泥流地帯』のお話

森下 辰衛(もりした たつえ)

三浦綾子記念文学館特別研究員。三浦綾子読書会代表。

1992年から2007年3月まで福岡女学院大学で日本の近代文学やキリスト教文学等を講義。2006年、家族とともに『氷点』の舞台である見本林のある旭川市神楽に移住し、三浦綾子記念文学館特別研究員となる。研究の傍ら、日本全国で三浦綾子の心を伝える講演、読書会活動を行っている。

